



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和8年度

ICTモデル事業

大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

事業名	ICTモデル事業					
業務名	大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務					
業務別業務名: 大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務						
コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S02115	*** S単-1号 *** 主任技師					
	主任技師		人	70,900		歩A・単A
S02115	*** S単-2号 *** 技師(A)					
	技師(A)		人	62,600		歩A・単A
S02115	*** S単-3号 *** 技師(B)					
	技師(B)		人	49,300		歩A・単A
S63003	*** S単-4号 *** 準備作業					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,2.00人,3.00人,3.00人,0.00人		式	542,400		歩A・単A
S63003	*** S単-5号 *** 施設情報の整理					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,3.00人,0.00人		式	422,200		歩A・単A
S63003	*** S単-6号 *** 自動給水ゲートの検討					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.30人,0.50人,1.00人,1.00人,0.00人		式	144,370		歩A・単A
S63003	*** S単-7号 *** 自動給水ゲートの実施設計					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.30人,0.50人,1.00人,0.00人		式	119,720		歩A・単A
S63003	*** S単-8号 *** 点検取りまとめ					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,3.00人,0.00人		式	422,200		歩A・単A
S63007	*** S単-9号 *** 現地調査					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,1.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人		式	182,800		歩A・単A
S63010	*** S単-10号 *** 打合せ(設計業務基準日額)					
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.5日		回	133,500		歩A・単A
S63010	*** S単-11号 *** 打合せ(設計業務基準日額)					
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.5日		回	111,900		歩A・単A
S63011	*** S単-12号 *** 打合せ(設計旅費・交通費)					
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,0.50日,0.50日,通勤により打合せ, ライトバン,1日,4時間		回	3,504		歩A・単A
S63011	*** S単-13号 *** 打合せ(設計旅費・交通費)					
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,中間,0.50日,0.50日,通勤により打合せ,ライトバ ン,1日,4時間		回	3,504		歩A・単A
S63023	*** S単-14号 *** 電子納品版業務報告書作成					
	電子納品版業務報告書作成 1,A-4,800,8cm,0		式	10,895		歩A・単A
S63034	*** S単-15号 *** 外業(設計旅費・交通費)					
	《旅費交通費(設計外業宿泊用)》 ライトバン,2日,2時間		式	4,844		歩A・単A
T00001	*** T単-1号 *** 状況調査(現地調査)					
			箇所	18,280		歩A・単A
T00002	*** T単-2号 *** 状況調査(施設情報の整理)					
			箇所	42,220		歩A・単A
T00003	*** T単-3号 *** 実施設計(自動給水ゲートの検討)					
			箇所	14,437		歩A・単A
T00004	*** T単-4号 *** 実施設計(自動給水ゲートの実施設計)					
			箇所	11,972		歩A・単A
T00005	*** T単-5号 *** 外業移動日基準日額					
	往復分		式	91,400		歩A・単A

事業名	ICTモデル事業
業務名	大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務

業務別業務名: 大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単-1号 ***						
S02115	主任技師		人		1,000	歩A 当たり算出
	主任技師			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04003 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	1.000	人	70,900	70,900	
	合計				70,900	算出数量 1,000 人
	単価				70,900	
*** S単-2号 ***						
S02115	技師(A)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師(A)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04004 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師(A)	1.000	人	62,600	62,600	
	合計				62,600	算出数量 1,000 人
	単価				62,600	
*** S単-3号 ***						
S02115	技師(B)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師(B)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04005 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04005	技師(B)	1.000	人	49,300	49,300	
	合計				49,300	算出数量 1,000 人
	単価				49,300	
*** S単-4号 ***						
S63003	準備作業		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人, 0.00人, 2.00人, 2.00人, 3.00人, 3.00人, 0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 主任技術者の人数 2) 技師長の人数 3) 主任技師の人数 4) 技師Aの人数 5) 技師Bの人数 6) 技師Cの人数 7) 技術員の数	0.00人 0.00人 2.00人 2.00人 3.00人 3.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師(A)	2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師(B)	3.000	人	49,300	147,900	
R04006	技師(C)	3.000	人	42,500	127,500	
	合計				542,400	算出数量 1,000 式
	単価				542,400	
*** S単-5号 ***						
S63003	施設情報の整理		式		1,000	歩A 当たり算出

事業名	ICTモデル事業
業務名	大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務

業務別業務名: 大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人, 0.00人, 1.00人, 2.00人, 2.00人, 3.00人, 0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師		1.000 人	70,900	70,900	
R04004	技師(A)		2.000 人	62,600	125,200	
R04005	技師(B)		2.000 人	49,300	98,600	
R04006	技師(C)		3.000 人	42,500	127,500	
	合計				422,200	算出数量 1.000 式
	単価		式		422,200	
	*** S単-6号 ***					
S63003	自動給水ゲートの検討		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人, 0.00人, 0.30人, 0.50人, 1.00人, 1.00人, 0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.30人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師		0.300 人	70,900	21,270	
R04004	技師(A)		0.500 人	62,600	31,300	
R04005	技師(B)		1.000 人	49,300	49,300	
R04006	技師(C)		1.000 人	42,500	42,500	
	合計				144,370	算出数量 1.000 式
	単価		式		144,370	
	*** S単-7号 ***					
S63003	自動給水ゲートの実施設計		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人, 0.00人, 0.30人, 0.50人, 0.50人, 1.00人, 0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.30人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	0.50人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師		0.300 人	70,900	21,270	
R04004	技師(A)		0.500 人	62,600	31,300	
R04005	技師(B)		0.500 人	49,300	24,650	
R04006	技師(C)		1.000 人	42,500	42,500	
	合計				119,720	算出数量 1.000 式
	単価		式		119,720	
	*** S単-8号 ***					
S63003	点検取りまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人, 0.00人, 1.00人, 2.00人, 2.00人, 3.00人, 0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	ICTモデル事業
業務名	大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務

業務別業務名: 大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師(A)					
		2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師(B)					
		2.000	人	49,300	98,600	
R04006	技師(C)					
		3.000	人	42,500	127,500	
	合計				422,200	算出数量 1.000式
	単価		式		422,200	
	*** S単-9号 ***					
S63007	現地調査		式		1.000式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)	0.00人,0.00人,1.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
	外業	1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師(A)					
	外業	1.000	人	62,600	62,600	
R04005	技師(B)					
	外業	1.000	人	49,300	49,300	
	合計				182,800	算出数量 1.000式
	単価		式		182,800	
	*** S単-10号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1.000回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額)			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.5日			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
	1)設計工種	一般工種				
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.500日				
R04003	主任技師					
		1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師(A)					
		1.000	人	62,600	62,600	
	合計				133,500	算出数量 1.000回
	単価		回		133,500	
	*** S単-11号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1.000回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額)			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.5日			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
	1)設計工種	一般工種				
	2)打合せ	中間				
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				

事業名	ICTモデル事業				
業務名	大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務				

業務別業務名: 大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.500日				
R04004	技師 (A)	1.000	人	62,600	62,600	
R04005	技師 (B)	1.000	人	49,300	49,300	
	合計				111,900	算出数量 1.000 回
	単価		回		111,900	
	*** S単- 12号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0		制約作業時間:0.0 冬季補正:なし
	一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,0.50日,0.50日,通勤により打合せ,ライトバン,1日,4時間			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0		亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.50日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	10)交通機関区分	ライトバン				
	11)高速道路往復料金 (税別)	0円				
	12)鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	13)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	14)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	15)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	1日				
	17)時間区分	4時間				
	18)宿泊料金1人当料金 (税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金 (税別)	0円				
M28121	ライトバン[カワサキエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	143	1,544	算出数量 1.000 回
	合計				3,504	
	単価		回		3,504	
	*** S単- 13号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0		制約作業時間:0.0 冬季補正:なし
	一般工種・解析等調査業務,中間,0.50日,0.50日,通勤により打合せ,ライトバン,1日,4時間			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0		亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.50日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	10)交通機関区分	ライトバン				
	11)高速道路往復料金 (税別)	0円				
	12)鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	13)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	14)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	15)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	1日				
	17)時間区分	4時間				
	18)宿泊料金1人当料金 (税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金 (税別)	0円				
M28121	ライトバン[カワサキエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	143	1,544	算出数量 1.000 回
	合計				3,504	
	単価		回		3,504	

事業名	ICTモデル事業
業務名	大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務

業務別業務名: 大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単-14号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1,000	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1. A-4, 800, 8cm, 0			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 報告書部数(部)	1,000		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	2) 規格区分	A-4				
	3) 枚数区分(枚)	800		深夜時間: 0.0		
	4) 厚さ区分	8cm				
	5) CD-R枚数(枚)	0,000				
P43496	報告書焼付代 (コピー) A-4以下 800枚	1,000	部	10,200	10,200	
P43543	簡易加除式ファイル A4縦型幅8cm(チューブ・パイプファイル)	1,000	冊	695	695	
P43602	CD-R CD-R(記録面色素フタロシアニン)700MB	0,000	枚	47	0	
	合計				10,895	算出数量 1,000式
	単価		式		10,895	
	*** S単-15号 ***					
S63034	外業(設計旅費・交通費)		式		1,000	歩A 当たり算出
	≪旅費交通費(設計外業宿泊用)≫ ライトバン, 2日, 2時間			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 交通機関区分	ライトバン		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	2) 高速道路往復料金(税別)	0円		深夜時間: 0.0		
	3) 鉄道往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	4) バス往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	5) 船舶往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	6) 航空往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	7) ライトバン使用日数	2日				
	8) 時間区分	2時間				
	9) 宿泊料金[全員分合算](税別)	0円				
	10) 宿泊手当[全員分合算](税別)	0円				
	11) 落札率	0.000000				
M28121	ライトバン[ガソリン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2,000	日	1,650	3,300	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	10,800	L	143	1,544	
	合計				4,844	算出数量 1,000式
	単価		式		4,844	

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	*** T単-1号 ***					
T00001	状況調査(現地調査)		箇所		10,000	歩A 当たり算出
S63007	現地調査 0.00人,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人	1,000	式	182,800	182,800	S単 9号 算出数量
	合計				182,800	10,000 箇所
	単価		箇所		18,280	
	*** T単-2号 ***					
T00002	状況調査(施設情報の整理)		箇所		10,000	歩A 当たり算出
S63003	施設情報の整理 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,3.00人,0.00人	1,000	式	422,200	422,200	S単 5号 算出数量
	合計				422,200	10,000 箇所
	単価		箇所		42,220	
	*** T単-3号 ***					
T00003	実施設計(自動給水ゲートの検討)		箇所		10,000	歩A 当たり算出
S63003	自動給水ゲートの検討 0.00人,0.00人,0.30人,0.50人,1.00人,1.00人,0.00人	1,000	式	144,370	144,370	S単 6号 算出数量
	合計				144,370	10,000 箇所
	単価		箇所		14,437	
	*** T単-4号 ***					
T00004	実施設計(自動給水ゲートの実施設計)		箇所		10,000	歩A 当たり算出
S63003	自動給水ゲートの実施設計 0.00人,0.00人,0.30人,0.50人,1.00人,0.00人	1,000	式	119,720	119,720	S単 7号 算出数量
	合計				119,720	10,000 箇所
	単価		箇所		11,972	
	*** T単-5号 ***					
T00005	外業移動日基準日額		式		1,000	歩A 当たり算出
S02115	往復分 主任技師	0,500	人	70,900	35,450	S単 1号
S02115	技師(A)	0,500	人	62,600	31,300	S単 2号
S02115	技師(B)	0,500	人	49,300	24,650	S単 3号 算出数量
	合計				91,400	1,000 式
	単価		式		91,400	

令和8年度ICTモデル事業
大野川上流地区受益地内水管理省力化対策
実施設計業務

特 別 仕 様 書

九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総則

(適用範囲)

第1-1条

令和8年度ICTモデル事業大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目的)

第1-2条

本業務は、ICT技術の活用による自動制御・遠隔監視、無効放流の削減、水管理労力の削減のための大野川上流地区ICT整備構想に基づき、関係施設の実施設計等を行うものである。

(場所)

第1-3条

本業務において対象とする場所は、大分県竹田市荻町地内で、別添位置図に示すとおりである。

(土地への立入り等)

第1-4条

作業実施のための土地への立入り等は、共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(履行確実性評価の達成状況の確認)

第1-5条

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評価に厳格に反映させるものとする。

- (1) 審査項目 a) ～c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- (2) 審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- (3) その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- (4) 業務成果品のミス、不備等

(一般事項)

第 1-6 条

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進歩を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- (3) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第 1-7 条

管理技術者は、共通仕様書第 1-6 条 第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりとする。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業 － 農業土木 農業 － 農業農村工学
	農業	農業土木、農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティング マネージャー	農業土木	

(担当技術者)

第 1-8 条

担当技術者は、共通仕様書第 1-8 条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第 1-9 条

共通仕様書第 1-11 条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第 1-12 条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。

なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。

- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

(保険加入)

第1-10条

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

(適用する図書)

第2-1条

本業務の基本的事項に関しては、次に示す図書によるものとする。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を得るものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
1	水管理制御方式技術 指針 (計画設計編)	(一社) 農業土木機械化協会	令和6年10月

(参考図書)

第2-2条

本業務の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるものとする。

(貸与資料等)

第2-3条

貸与資料は、次のとおりである。

番号	資 料 名	数量
1	令和4年度ICTモデル事業大野川上流地区受益地内水管理省力化 対策検討業務報告書	1式
2	令和5年度ICTモデル事業大野川上流地区受益地内水管理省力化 対策検討業務報告書	1式
3	令和6年度ICTモデル事業大野川上流地区受益地内水管理省力化 対策実施設計業務報告書	1式
4	令和7年度ICTモデル事業大野川上流地区受益地内水管理省力化 対策実施設計業務報告書	1式
5	平成27年度大野川上流農業水利事業 計画変更資料作成その他業務 報告書	1式
6	その他業務実施上、監督職員が必要と認める資料	1式

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第 2-4 条

第 2-2 条、第 2-3 条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか、完了検査時に一括返納しなければならない。

第 3 章 作業内容

(作業項目及び数量)

第 3-1 条

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は別紙【作業項目内訳表】に示すものとする。

作業項目表

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 準備作業	1 式	
2. 状況調査	1 式	
3. 実施設計	1 式	
4. 点検取りまとめ	1 式	

(作業の留意点)

第 3-2 条

作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第 2-2 条、第 2-3 条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする
- (3) 業務履行中において、一部成果物の提出を求めることがあるが、受注者はこれに協力するものとする。
- (4) 共通仕様書第 1-11 条に基づき作成する業務計画書には、技術提案書の添付は行わないこととする。

(業務写真における黒板情報の電子化)

第3-3条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の(1)から(4)によりこれを実施するものとする。

(1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等(以下、「機器等」という。)は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能(改ざん検知機能)を有するものを使用するものとする。

(2) 機器等の導入

- 1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- 2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

(3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- 1) 受注者は、(1)の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- 2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領(案)」によるものとする。

なお、上記1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領(案)6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

- 3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、(3)に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時にURL(https://dcpadv.jcomsia.org/photofinder/pac_auth.php)のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

(打合せ)

第4-1条

共通仕様書第 1-10 条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。
また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

- 初 回 作業着手の段階
- 第2回 中間打合せ（現地調査段階）
- 第3回 中間打合せ（施設情報の整理段階）
- 第4回 中間打合せ（自動給水ゲートの実施設計段階）
- 最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合には、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第 1-11 条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第5章 成果物

(成果物)

第5-1条

成果物を共通仕様書第 1 章第 1-17 条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- (1) 成果物の電子媒体（CD-R もしくは DVD-R） 正副 2 部
- (2) 成果物の出力 1 部（電子媒体の出力（A4）、市販のファイル綴じで可）
- (3) 図面原図 一式

(成果物の提出先)

第5-2条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

熊本県阿蘇郡産山村大字山鹿 2084-5
九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所 大蘇ダム管理所駐在

第6章 契約変更

(契約変更)

第6-1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (2) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (3) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (4) 履行期間の変更が生じた場合。
- (5) 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- (6) その他

(業務スライドの試行)

第6-2条

- (1) 本業務は、「建設コンサルタント業務等における賃金等の変動に基づく業務費の変更の取扱いについて（試行）」（令和7年12月17日付け7農振第2167号農村振興局整備部設計課長通知）（URL「<https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/attach/pdf/index-256.pdf>」）に基づく試行業務である。
- (2) 発注者又は受注者は、履行期間内で業務契約締結の日から12月を経過した後に日本国内における賃金水準又は物価水準の変動により業務費が不適当となったと認めるときは、相手方に対して業務費の変更を請求することができる。
- (3) 発注者又は受注者は、(2)の規定による請求があったときは、変動前残業務費（業務費から当該請求時の履行済部分に相応する業務費を控除した額をいう。以下この条において同じ。）と変動後残業務費（変動後の賃金又は物価を基礎として算出した変動前残業務費に相応する額をいう。以下この条において同じ。）との差額のうち変動前残業務費の1000分の15を超える額につき、業務費の変更に応じなければならない。
- (4) 変動前残業務費及び変動後残業務費は、請求のあった日を基準とし、物価指数等に基づき発注者と受注者とが協議して定める。
ただし、協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。
- (5) (2)の規定による請求は、この条の規定により業務費の変更を行った後再度行うことができる。この場合において、(2)中「業務契約締結の日」とあるのは、「直前のこの条に基づく業務費変更の基準とした日」とするものとする。
- (6) 予期することのできない特別の事情により、履行期間内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、業務費が著しく不適当となったときは、発注者又は受注者は、(2)～(5)の定めにかかわらず、業務費の変更を請求す

ることができる。

(7) (6) の場合において、業務費の変更額については、発注者と受注者とが協議して定める。

ただし、協議開始の日から 14 日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。

(8) (4) 及び (7) の協議開始の日については、発注者が受注者の意見を聴いて定め、受注者に通知しなければならない。

ただし、発注者が (2)、(6) の請求を行った日又は受けた日から 7 日以内に協議開始の日を通知しない場合には、受注者は、協議開始の日を定め、発注者に通知することができる。

(9) 業務スライドの試行に係る運用については、(1) に記載の通知に基づくものとする。

第 7 章 定めなき事項

(定めなき事項)

第 7-1 条

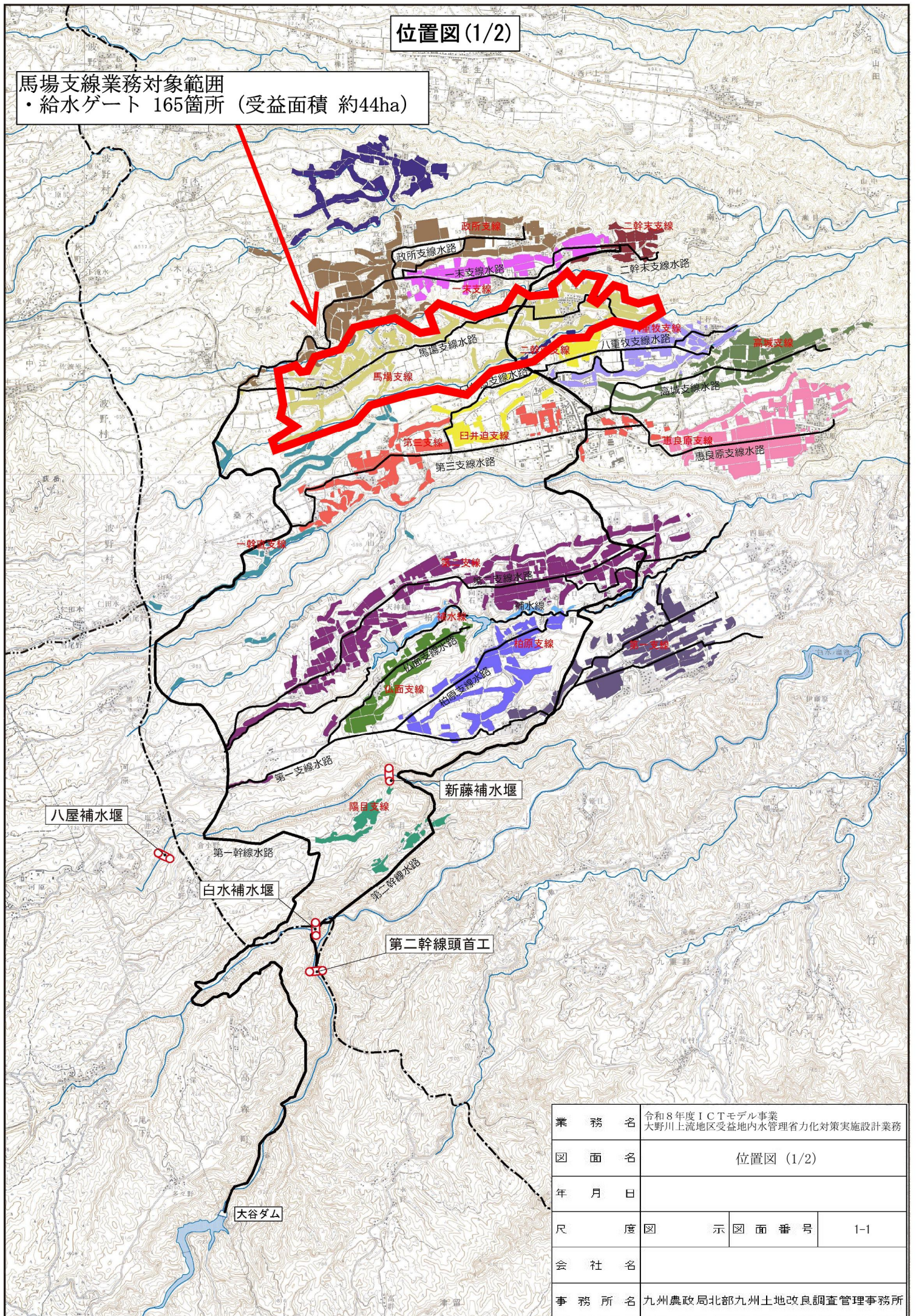
この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙【作業項目内訳表】

作業項目	作業内容	備考
1. 準備作業	貸与資料等を把握し、業務計画を作成する。	
2. 状況調査 2.1 現地調査	貸与資料を基に馬場支線掛かりの給水ゲートの配置を確認し、施設の現状及び管理状況を調査する。 ・馬場支線：給水ゲート 165 箇所（受益面積 約 44ha）	
2.2 施設情報の整理	現地調査結果や貸与資料により、馬場支線掛かりの給水ゲートの施設情報を整理する。 ・馬場支線：給水ゲート 165 箇所（受益面積 約 44ha）	
3. 実施設計 3.1 自動給水ゲートの検討	2. の調査結果や貸与資料を基に各支線掛かりの給水ゲートに対して自動給水ゲートの検討を行う。検討に際しては、自動給水ゲートと既設水路の接続部構造の相違（既設部の大きさ、向き、配水部構造）などを確認し、各箇所毎に標準 6 タイプ（過年度業務にて設定した 6 タイプ：参考図面参照）のどのタイプに該当するか整理する。 ・馬場支線：給水ゲート 165 箇所（受益面積 約 44ha）	
3.2 自動給水ゲートの実施設計	3.1 の自動給水ゲートの検討結果及び貸与資料に基づき、機器整備に向けた実施設計を行う。 機器整備は、土地改良区等の管理者がスマートフォンによる遠隔操作又はタイマーによる自動操作を行うことを前提とする。 実施設計の結果に基づき、図面、数量計算書、特別仕様書（案）を作成し、概算工事費を算出する。 なお、地形図には発注者から提供する GIS データを活用する。 ・馬場支線：給水ゲート 165 箇所（受益面積 約 44ha）	
4. 点検取りまとめ	各作業項目の点検取りまとめを行い、報告書を作成する。	

位置図(1/2)

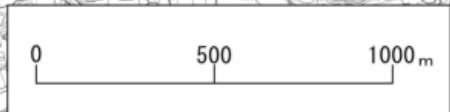
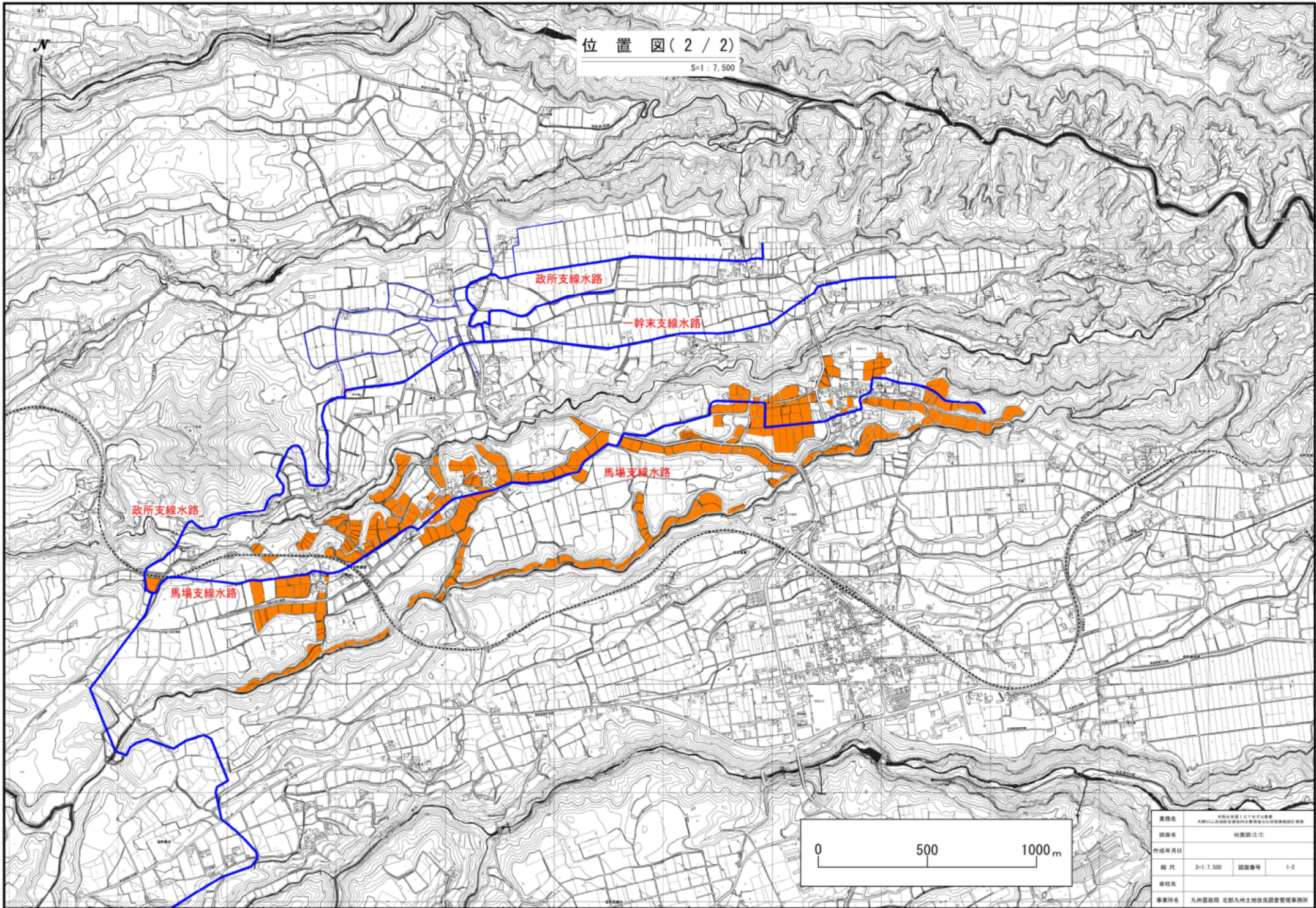
馬場支線業務対象範囲
 ・給水ゲート 165箇所 (受益面積 約44ha)



業務名	令和8年度ICTモデル事業 大野川上流地区受益地内水管理省力化対策実施設計業務		
図面名	位置図(1/2)		
年月日			
尺度	図示	図面番号	1-1
会社名			
事務所名	九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所		

位置図(2/2)

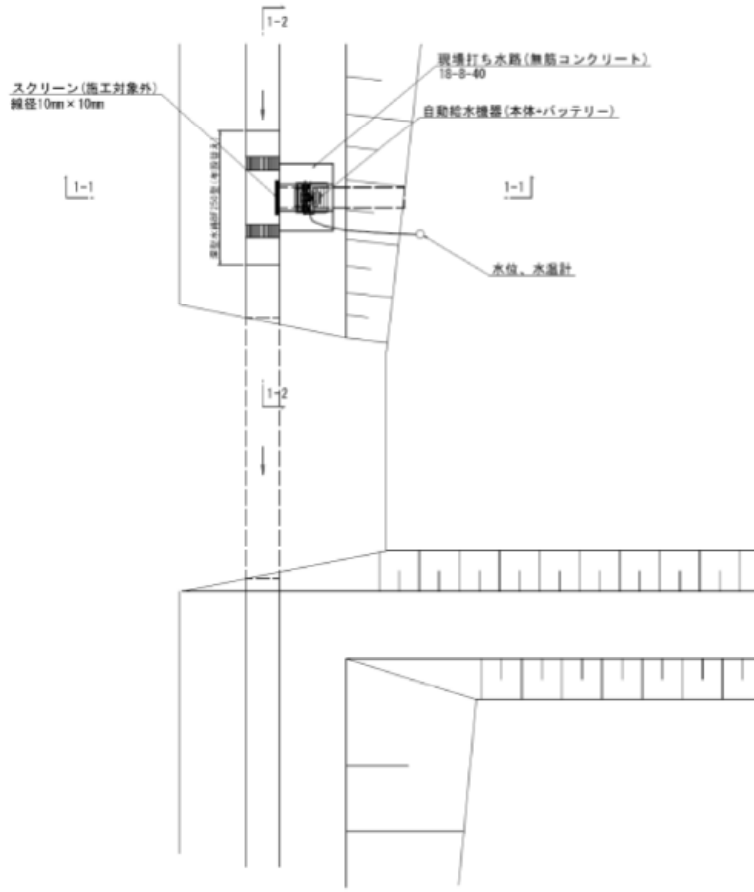
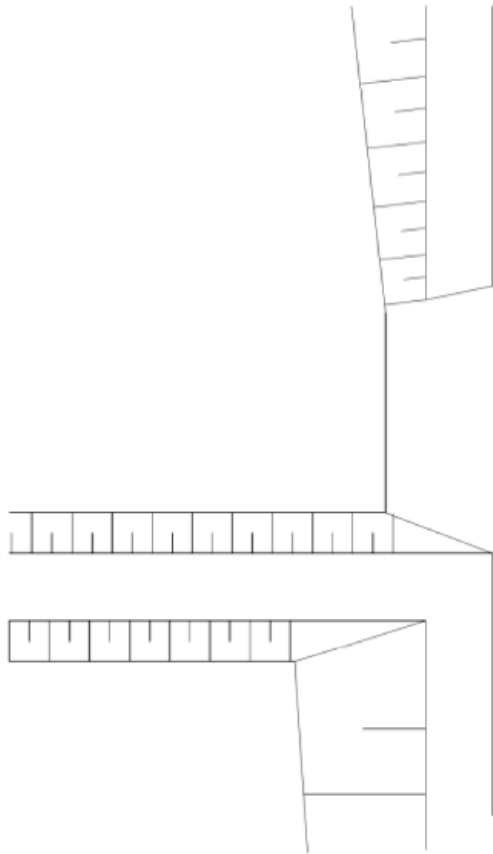
S=1:7,500



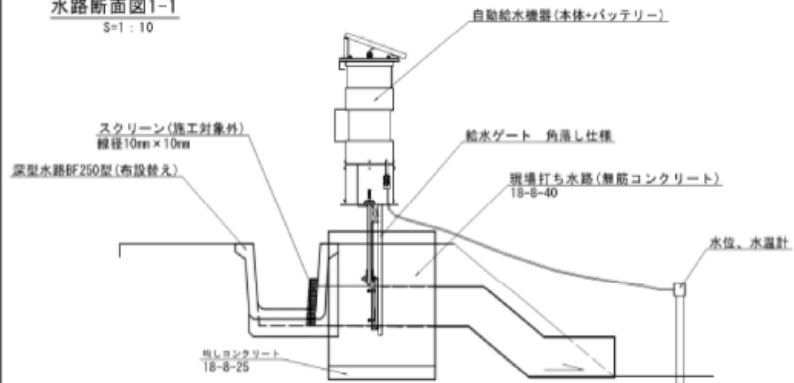
業務名	昭和三十九年度国土庁委託業務 大野川上流段支線管内水管理強化対策実施設計業務		
図面名	位置図(2/2)		
作成年月日			
縮尺	S=1:7,500	図面番号	1-2
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

①型:自動給水ゲート A-BF250型 標準図

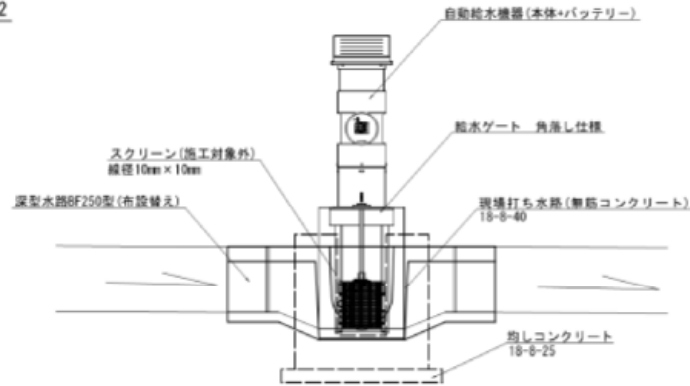
平面図
S=1:20



水路断面図1-1
S=1:10

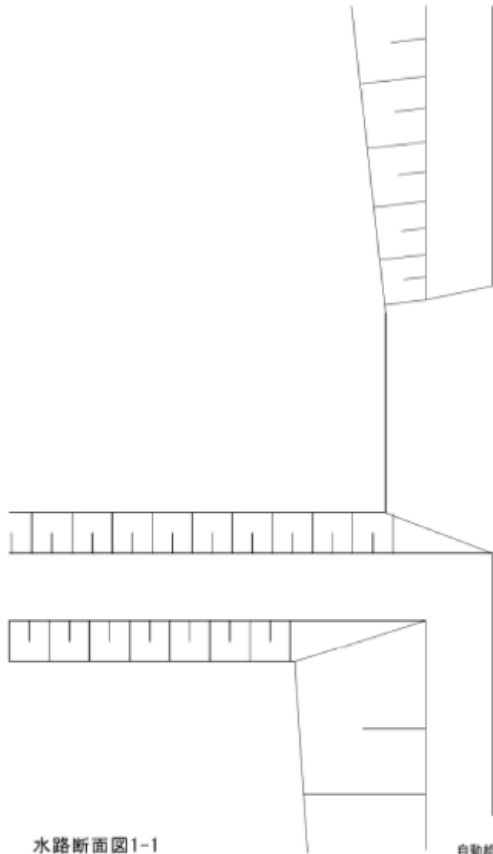


水路断面図1-2
S=1:10

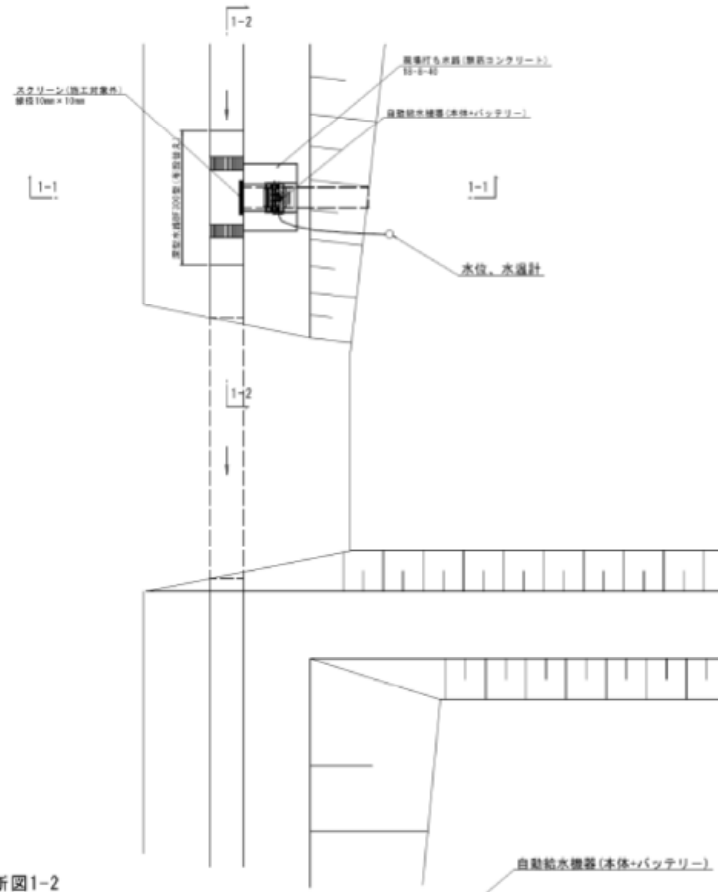
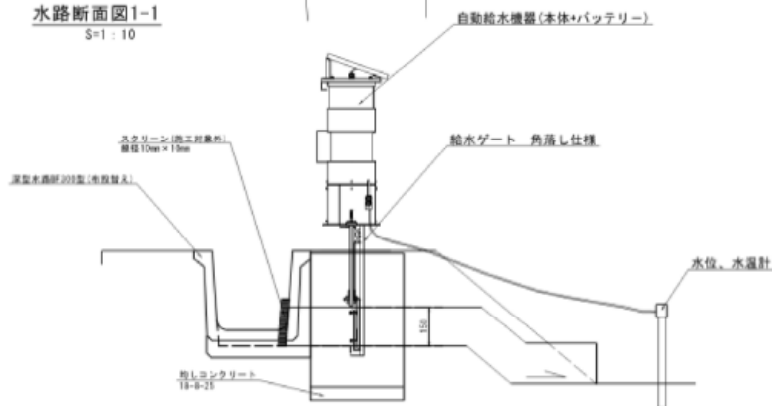


②型:自動給水ゲート A-BF300型 標準図

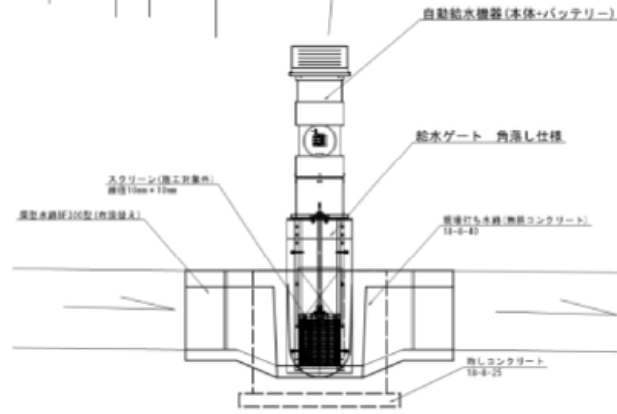
平面図
S=1:20



水路断面図1-1
S=1:10

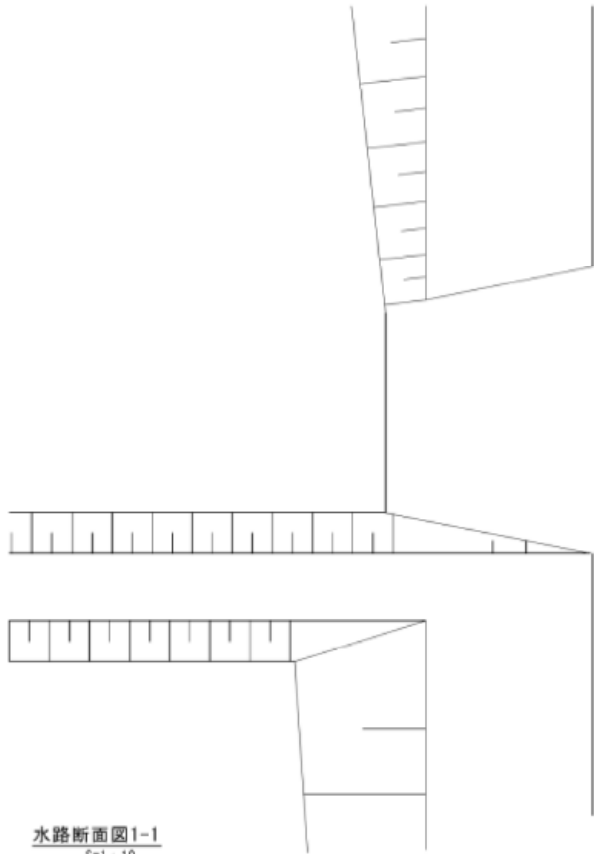


水路断面図1-2
S=1:10

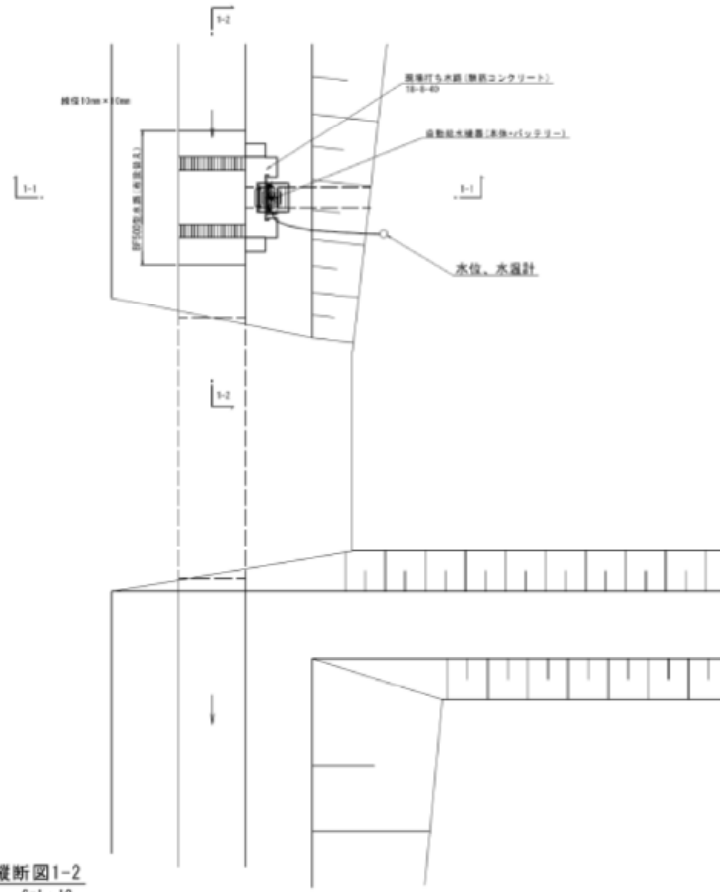
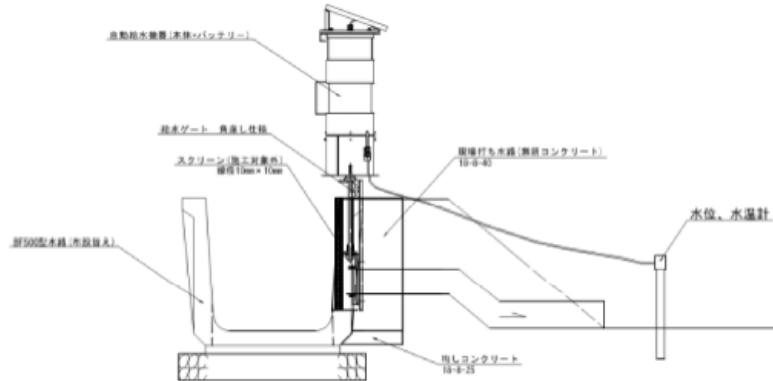


③型：自動給水ゲート A-BF500型 標準図

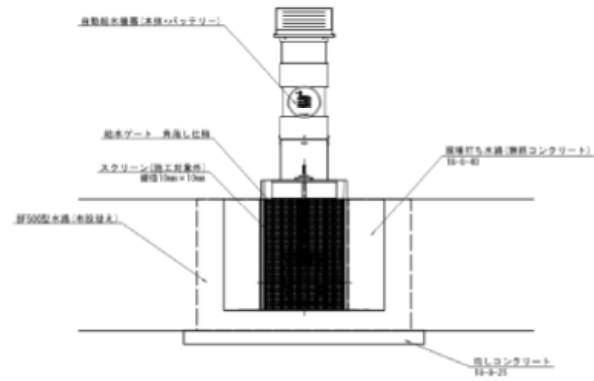
平面図
S=1 : 20



水路断面図1-1
S=1 : 10

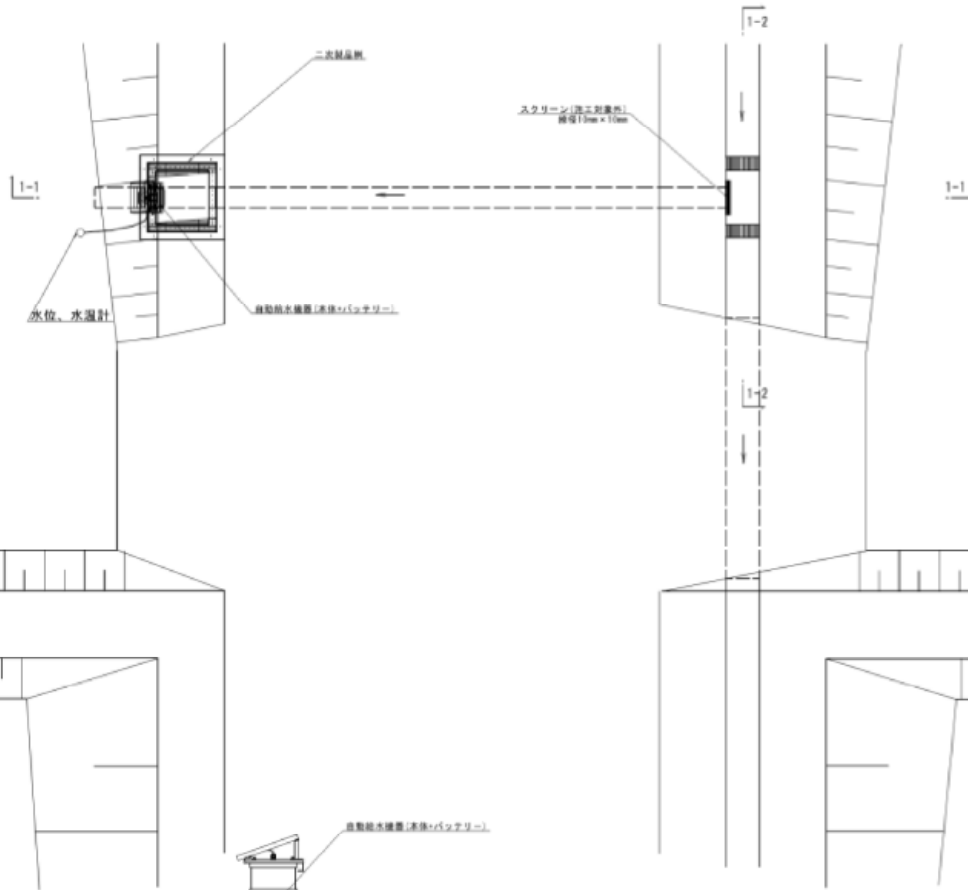


水路横断面図1-2
S=1 : 10

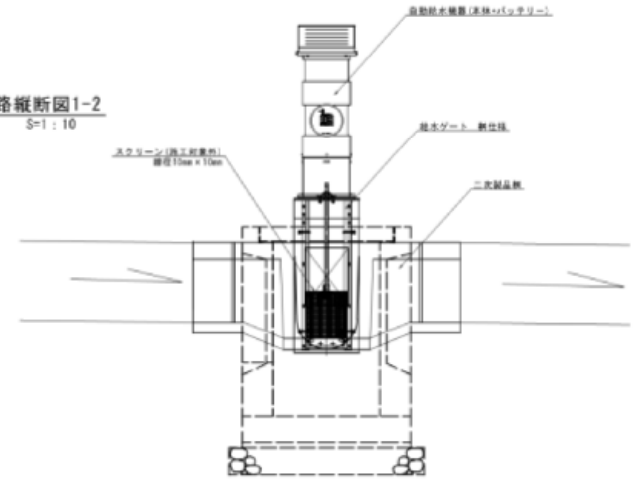


④型：自動給水ゲート B-二次製品樹型 標準図

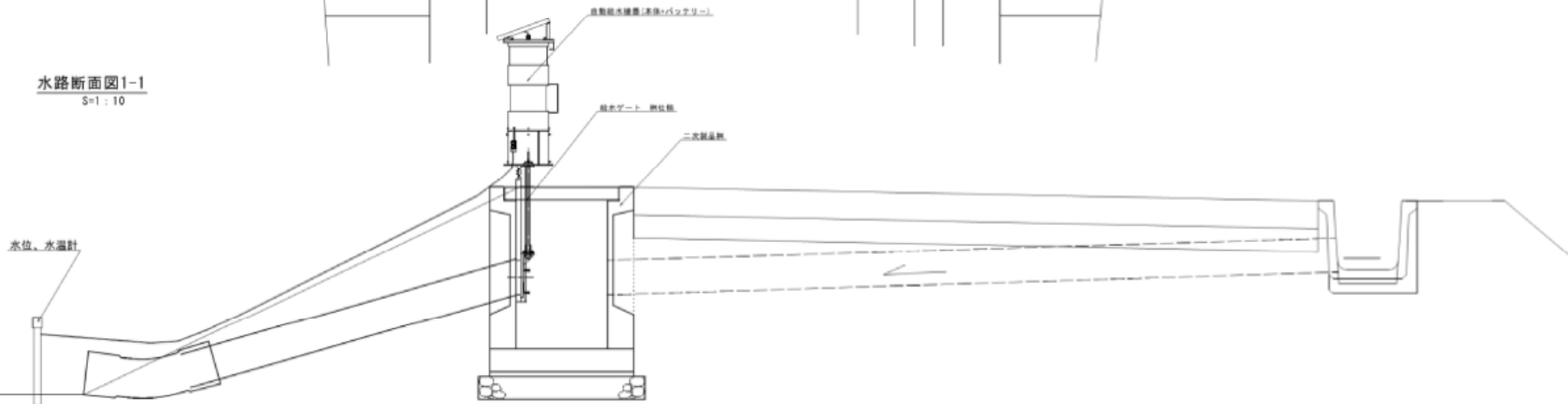
平面図
S=1:20



水路縦断面図1-2
S=1:10

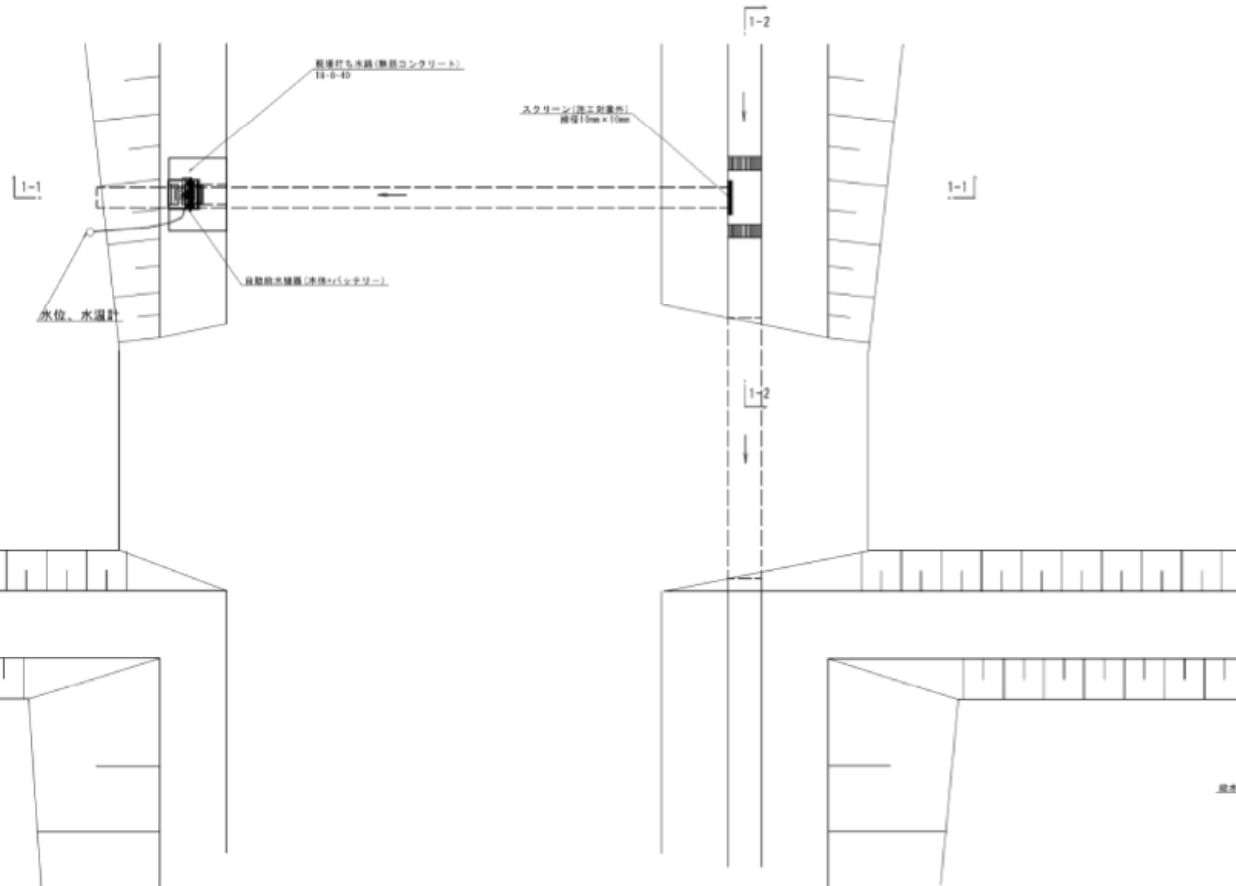


水路断面図1-1
S=1:10

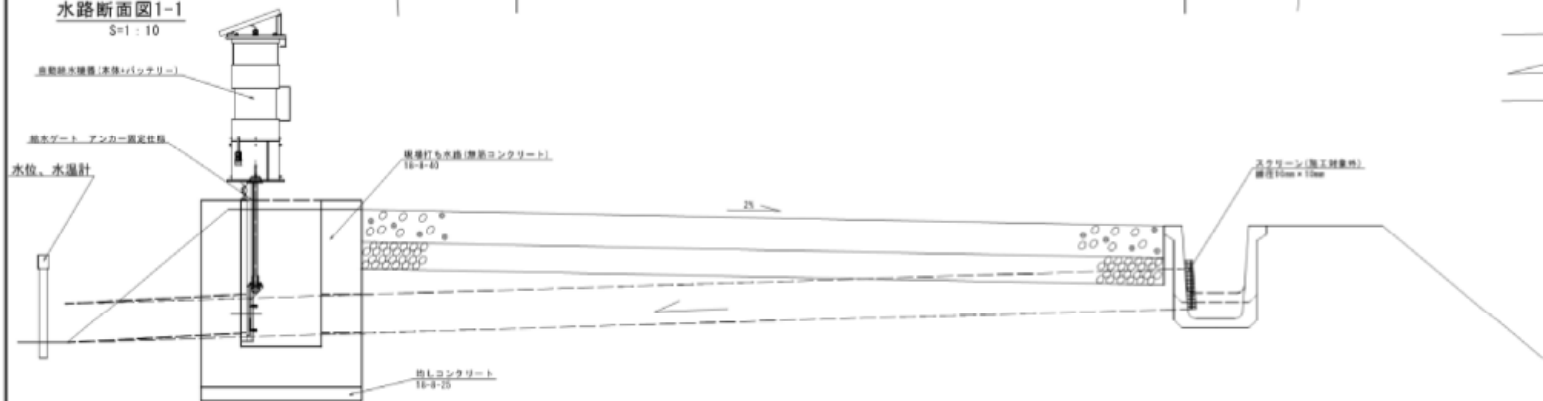


⑤型：自動給水ゲート B-現場打型 標準図

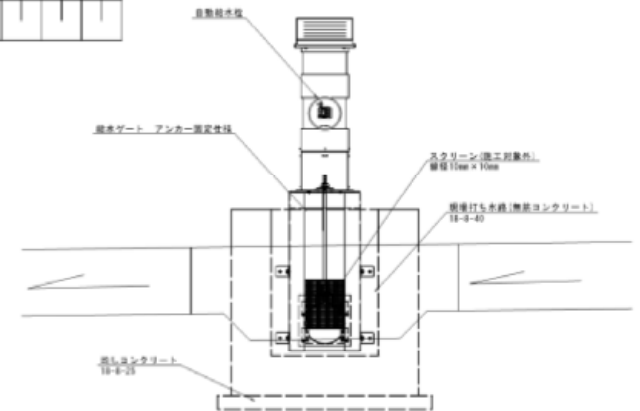
平面図
S=1:20



水路断面図1-1
S=1:10

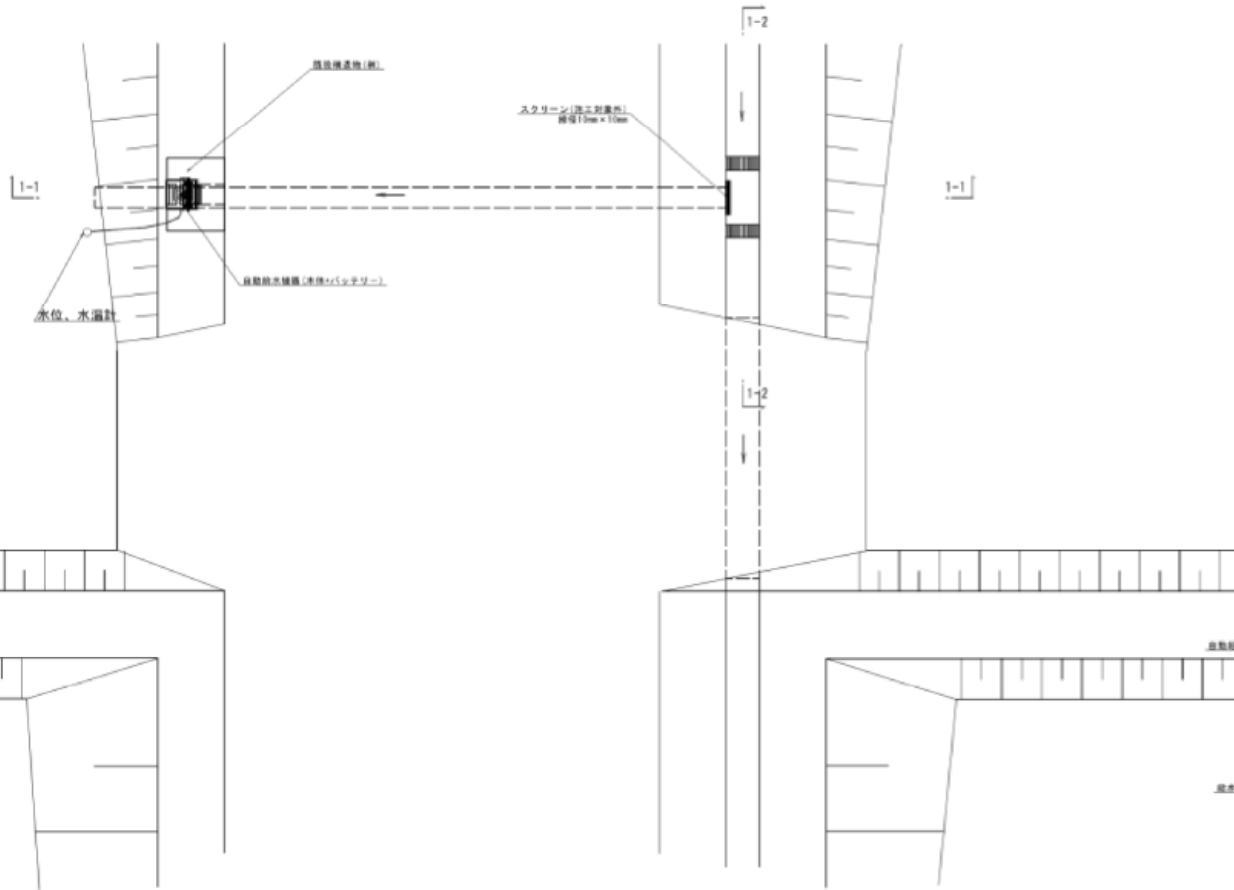


水路縦断面図1-2
S=1:10

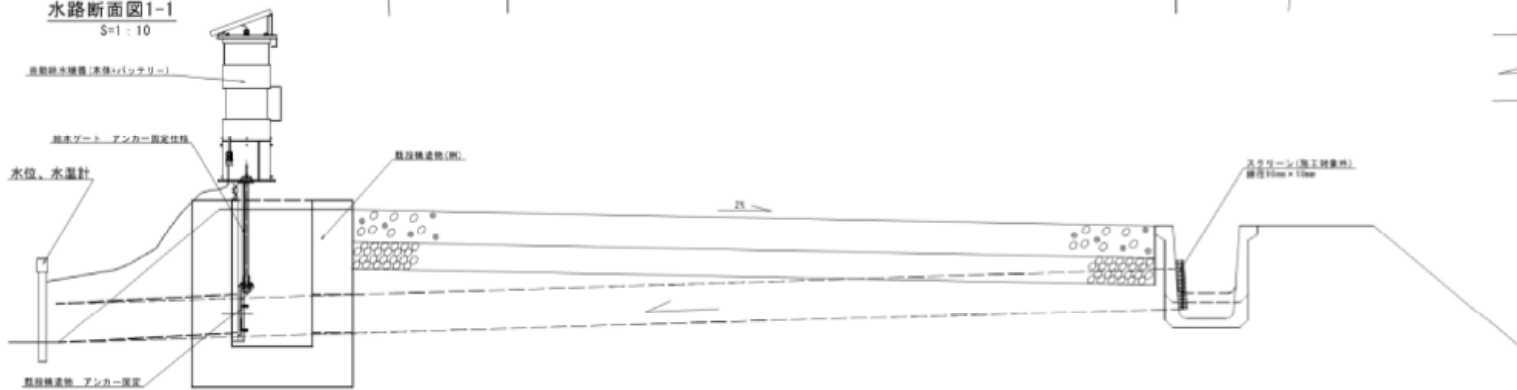


⑥型：自動給水ゲート 既設直付型 標準図

平面図
S=1:20



水路断面図1-1
S=1:10



水路縦断面図1-2
S=1:10

